

No	分類	対象	設問 (「4よくあてはまる」～「1まったくあてはまらない」の4段階で評価)	平均値	評価	学校自己評価
1	学校運営 教育課程	保護者	お子さんは、学校に行くのを楽しみにしている	3.2	A	B
		児童	学校は楽しい	3.3	A	
		保護者	学校は、児童の実態に即した教育目標をわかりやすく示している	2.9	B	
		職員	学校教育目標及び経営の基本方針を理解し、実践に努めている	3.7	A	
		保護者	学校は、楽しく充実した学校行事になるよう努力している	3.3	A	
		児童	学校の行事(運動会、校外学習など)は楽しい	3.5	A	
2	学校運営 教育課程	職員	行事のねらいを明確にし、児童が意欲的に参加し、充実した行事になるよう指導している	3.5	A	B
		保護者	先生は、児童にわかりやすい授業をしている	3.0	B	
		児童	先生の授業はわかりやすい	3.4	A	
		職員	わかりやすい授業となるよう教材研究など工夫・努力している	3.4	A	
		保護者	先生は、宿題や家庭学習など、児童に自学の習慣を身につけさせ、学力の向上を図ろうと努めている	3.0	B	
		児童	家でも宿題や勉強をがんばっている(塾などはのぞく)	3.1	B	
3	学習指導	職員	宿題や家庭学習など、児童に自学の習慣を身につけさせようと努めている	3.3	A	B
		保護者	先生は、児童に読書の習慣がつくように指導している	2.8	B	
		児童	本を読むことが好き	3.0	B	
		職員	児童に読書の習慣がつくように指導している	3.4	A	
		保護者	先生は、道徳の授業を充実させて児童に思いやりの気持ちが育つよう指導している	3.0	B	
		児童	道徳の授業では、自分の行動や生活をよくしたいと考える	3.1	B	
4	学習指導	職員	道徳の授業を確実にを行い、児童に思いやりの気持ちが育つよう指導している	3.1	B	B
		保護者	先生は、児童が誰にでも優しく接することができるよう指導している	3.0	B	
		児童	誰にでもやさしくしてあげられる	3.3	A	
		職員	児童が他人を尊重し、友だちに優しく接することができるよう指導している	3.6	A	
		保護者	先生は、児童が学校のきまりや社会のルールを守れるよう指導している	3.0	B	
		児童	学校のきまりや世の中のきまりを守っている	3.4	A	
5	生徒指導 教育相談 特別支援	職員	児童が学校のきまりや社会のルールを守れるよう指導している	3.7	A	B
		保護者	先生は、児童が元気な挨拶ができるよう指導している	3.1	B	
		児童	あいさつがきちんとできる	3.3	A	
		職員	児童に挨拶の大切さや元気に挨拶ができるように指導している	3.6	A	
		保護者	先生は、清掃や係活動などを通じて勤労の大切さを指導している	3.0	B	
		児童	清掃や当番、係の仕事をしっかりを行い、使ったものは元に戻している	3.4	A	
6	生徒指導 教育相談 特別支援	職員	清掃や係活動などを通じて勤労の大切さを指導し、校内環境の美化に努めている	3.6	A	B
		保護者	困ったことや相談事などがあった際、学校は丁寧に対応してくれる	3.1	B	
		児童	先生は、悩みや相談にのってくれる	3.4	A	
		職員	児童や保護者からの相談事等に丁寧に対応している	3.6	A	
		保護者	学校は、いじめの未然防止や児童間のトラブルへの対応に努めている	2.9	B	
		児童	いじめをしたり、いじめを見て見ぬふりをしていない	3.5	A	
7	生徒指導 教育相談 特別支援	職員	いじめ撲滅のための指導や人間関係のトラブルに適切に対処している。	3.8	A	B
		保護者	学校は、何か特別な配慮や支援をしてほしいと思ったときに相談しやすい	2.9	B	
		職員	特別支援教育の推進にあたり、保護者やSC、市教委をはじめ各関係機関等との連携は図れている	3.8	A	
		保護者	先生は、体育の授業や諸活動を通じて、児童の体力や運動能力が向上するよう指導している	3.1	B	
		児童	体育の授業や休み時間の外遊びなどで、体力や運動能力がついたと思う	3.5	A	
		職員	体育の授業をはじめ、教育活動の中で児童の体力や運動能力が向上するよう指導している	3.3	A	
8	健康管理 安全管理	保護者	学校は、給食等を通して子どもに食に対する知識やよい習慣がつくよう指導している	2.9	B	B
		児童	給食は楽しみだ	3.6	A	
		職員	給食指導等を通して、食育の推進に努めている	3.5	A	
		保護者	学校は、保護者や地域と連携しながら児童の安全確保に努力している	3.0	B	
		児童	先生は、交通安全や危険なことなどについてよく教えてくれ、自分でも健康や安全に気をつけて生活している	3.5	A	
		職員	安全点検を確実にを行い、保護者や地域と連携しながら児童の安全確保に努力している	3.7	A	
9	健康管理 安全管理	保護者	学校は、児童の健康管理に気をつけ、けがや病気に対して適切に対応している	3.1	B	B
		児童	先生は、けがや病気のときに親切に対応してくれる	3.6	A	
		職員	児童のけがや病気に対する危機意識を持ち、適切に指導・対応している	3.7	A	
		保護者	学校は、各種たよりやメール(tetoru)、HPなどで情報発信に努めている	3.3	A	
		職員	便りや保護者会等で教育方針や教育活動等についてわかりやすく伝えている	3.5	A	
		保護者	学校は、保護者や地域と連携して、充実した教育活動となるよう努めている	3.1	B	
10	家庭 地域連携	職員	保護者や地域と連携して、充実した教育活動となるよう努めている	3.6	A	A
		職員	校内の研修体制は、教職員の資質向上に役立っている	3.7	A	
11	教職員の 資質向上	職員	自校での業務の負担感は昨年度と比較し軽減していると感じる	3.4	A	A
		職員	モラルアップ委員会の活動をはじめ、職員間の協力体制や相談のしやすさなど、風通しのよい職場環境だと感じる	3.6	A	

(見方)

- 1 令和7年12月に実施したアンケート（児童、保護者、職員）のうち、関連付いている20項目について、結果を並列して表示しています。（21項目は教職員に関わるもの）
児童回答率 99.4%（155名） 保護者回答率 約74%（87家庭）
教職員回答率 100% （いずれもweb回答）
- 2 各設問の評価（ABC）について
各設問への回答（1～4の4段階）の平均値が、3.2以上のものをA（（ほぼ）達成できた）、2.5未満のものをC（改善を要する）とし、AとCの間のをB（課題はあるが、ある程度は達成できた）としています。（今年度よりCの評価基準を変更 2.0未満→2.5未満）
- 3 この結果に基づく学校自己評価（改善の方策）及び、学校運営協議会外部委員（6名）による学校関係者評価は別紙を参照してください。また、保護者宛には別途考察を加えた文書を発行しているので、そちらもあわせてご確認ください。